

婦人

画

報

2

February 2010
No.1279

日本がわかる

鍋を知ると、

47都道府県の名物鍋 完全収録！

旅をしよう、
取り寄せよう、
今夜つくろう

倉本聰
富良野塾が遺したもの

世界のショコラ
を贈りませんか？

シートマスク
最前线

風を感じ、色を纏う
春待ち服

高峰秀子との仕事
斎藤明美

「転地療法」で、ダイエット

奈良 仏ごころに触れる旅を

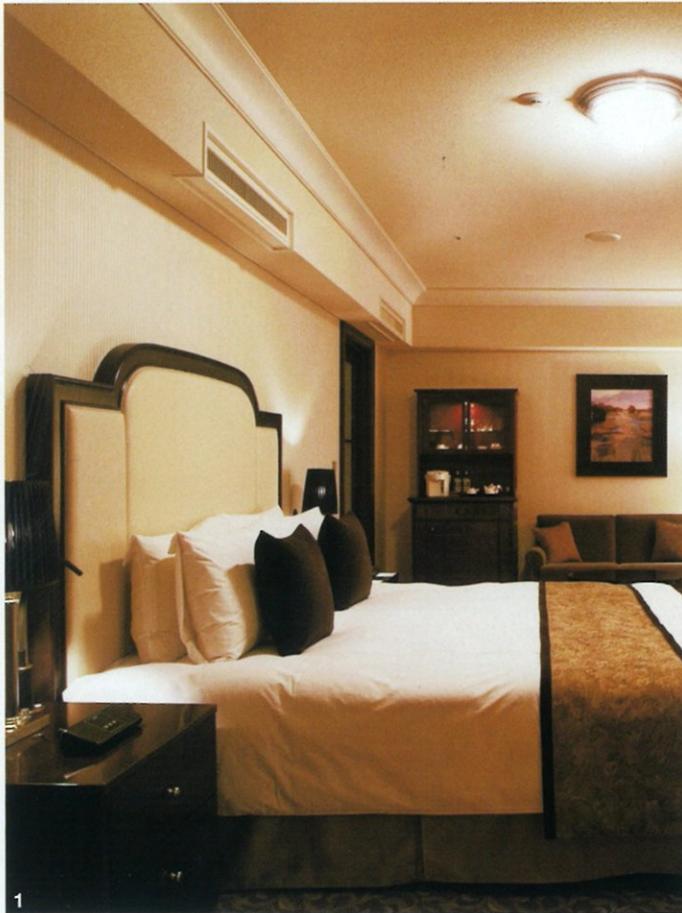
寺歩きマップ+修行どころ、精進料理、お土産指南まで



似合うフレーム探し、コツのコツ
眼鏡美人の極意

A

帝国ホテル東京



1

120年目の洗練を究める 「日本のホテル」の原点

海外からの賓客を迎える「日本の迎賓館」として、明治23年に開業。以来120年間、こまやかで上質なもてなしは「日本のホテル」の原点として、多くの人々に愛されてきました。今回は「インペリアルフロア・ジュニアスイート」に朝食付きで

ご招待。インペリアルフロアは、本館14階～16階だけの特別な空間で、フロア専任のゲストアテンダントが身の回りをお手伝い。イギリス人デザイナー、ジュリアン・リード氏による内装は落ち着いた色合いのテキスタイルが安らぎを与えます。

所在地: 東京都千代田区内幸町1-1-1 <http://www.imperialhotel.co.jp/j/tokyo>
☎ 03-3504-1251(宿泊予約専用) チェックイン: 14時 チェックアウト: 12時
ご招待期間: 2010年3月1日～2010年6月30日
(予約状況によってはご希望に添えない日にちがございます)



1 「インペリアルフロア・ジュニアスイート」での眠りは、帝国ホテルが開発したオリジナルベッドとデュベ(羽根布団)で。2 トライショナルダイニング「ラ・ブランチ」。歴代料理長らによって受け継がれてきた正統フレンチが味わえる。3 伝統が導く風格漂う正面ロビー。

「婦人画報俱楽部」
会員限定

3号連続 特別ご招待 実施中

1月号 → 全国5軒の名旅館へ
※受付は終了しました。

2月号 → 全国5軒の名ホテルへ
1組2名 計10名をご招待

3月号 → 全国5軒の名料亭へ
1組2名 計10名をご招待

第二弾

編集部が厳選した、
5つのホテルステイ。
大切な方との
ひとときを、婦人画報が
ご用意しました

『婦人画報』は、今まで、日本を代表する名ホテルの素晴らしさを幾度となく紹介し続けてきました。今回の「婦人画報俱楽部」設立にあたって、会員の皆様のために厳選したのが、編集部が自信をもっておすすめするこの5つのホテルです。「婦人画報俱楽部」会員に限定し、各ホテルに1組2名を特別ご招待いたします。

※ご宿泊に際し、お部屋のご指定はご遠慮ください。

A 帝国ホテル東京

B ザ・ペニンシュラ東京

C コンラッド東京

D ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド

E ハイアットリージェンシー 京都

応募方法等の詳細は、245ページをご参照ください。

C

コンラッド東京

B

ザ・ペニンシュラ東京



東京湾のパノラマビューに抱かれる、
都会のオアシス

東京ベイサイドエリアに立ち並ぶ高層ビルディング群。なかでも、東京湾、浜離宮恩賜庭園をすぐ目の前に眺めることができる最高のロケーションに位置する建物が東京汐留ビルディング。この上層階が「コンラッド東京」です。『ミシュランガイド東京

2010』ホテル部門において、最高の5レッドパビリオンを3年連続で獲得し、その洗練されたサービスと施設には多くの信頼が集まっています。今回は、「ベイビュールーム」に朝食付きご招待。東京湾一帯をほぼ見わたすことができるお部屋です。

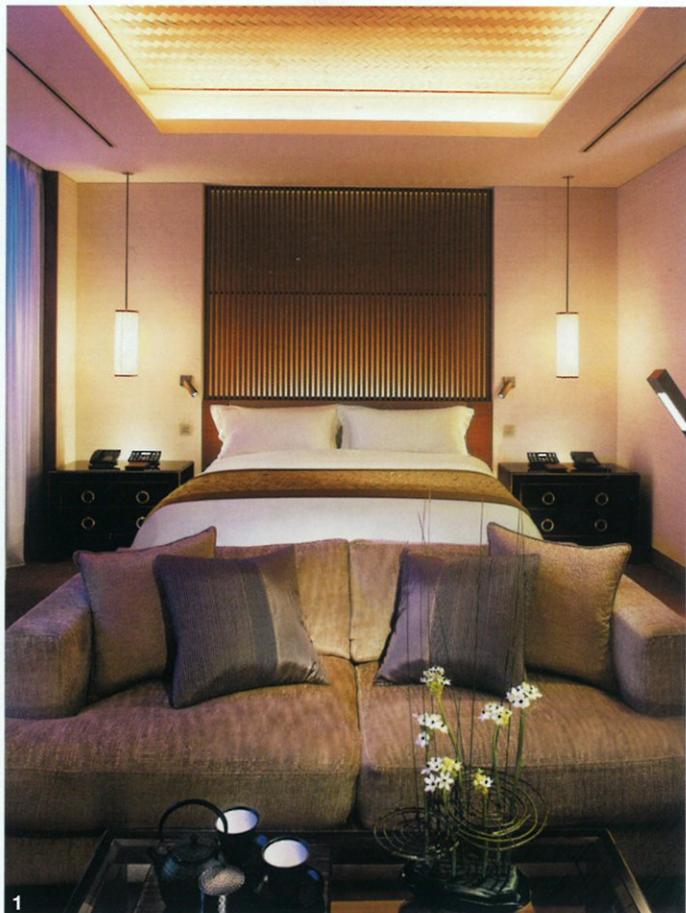
所在地: 東京都港区東新橋1-9-1 <http://www.ConradTokyo.co.jp>

03-6388-8000(代表) チェックイン: 15時 チェックアウト: 12時

ご招待期間: 2010年3月1日~2010年6月30日

(休前日・4月29日~5月8日を除く)

1 コンラッドホテルズの格式を継承し、独自の和空間を表現したロビー。2 「ベイビュールーム」の一例。高さ約3メートルの大きな窓からはレインボープリッジやお台場の夜景が。昼は眼下に浜離宮恩賜庭園の緑。3 明け方の光眩しい東京を眺め、朝食を。

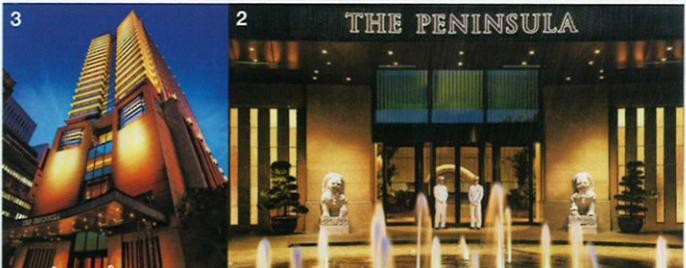


伝説的もてなしで迎えてくれる
東京の「東洋の貴婦人」

世界中のセレブリティが愛してやまない「ザ・ペニンシュラ香港」のホスピタリティ。そして、日本伝統の温かなもてなし精神。これらが融合により、2007年、東京・日比谷に誕生しました。今回は「デラックスルーム」に朝食付きでご招待。杉の皮を1枚ずつ編んだ網代天井、漆職人による朱塗りのカウンター、トチの無垢材一枚板を使ったドアなど、和の要素がそここに見受けられます。その土地の文化を部屋の心地よさに昇華するペニンシュラらしさが溢れています。

所在地: 東京都千代田区有楽町1-8-1
<http://www.peninsula.com/tokyo/jp/default.aspx> ☎ 0120-71-2888(宿泊予約課)
チェックイン: 15時 チェックアウト: 12時 ご招待期間: 2010年2月1日~2011年1月31日
(2月13日~16日、4月29日~5月8日、12月24日~1月3日を除く)

1 54mの広さを持つ「デラックスルーム」。2 スタッフの笑顔に迎えられ、ロビーへ。挿土秀平氏の土壁、堀木エリ子氏の和紙照明など、京都の職人技やアートが随所に。館内には1,000点を超すアート作品を展示。3 皇居外苑と日比谷公園を眼前に建つ。



E

ハイアット リージェンシー 京都



古都の伝統美をちりばめ、 現代アートの感覚で生まれた部屋

世界中に広がるハイアット ホテルズ アンド リゾーツによって2006年、東山七条の一角に生まれた「ハイアット リージェンシー 京都」。京都国立博物館、三十三間堂、智積院、養源院と情緒豊かな名所の数々に隣接しており、周辺をのんびり散歩するにも最適、観光にも便利な場所に位置しています。今回は「デラックスルーム」へ朝食付きでご招待。白木をふんだんに使用した自然な色調の壁などがやわらかな雰囲気を醸し、時の流れがゆっくりと感じられます。

所在地:京都府京都市東山区三十三間堂廻り644-2

<http://www.hyattregencykyoto.com/> ☎075-541-3210(宿泊予約)

チェックイン:14時 チェックアウト:12時 ご招待期間:2010年3月1日~2010年8月31日
(3月20日・21日、4月1日~4月10日、5月1日~5月4日、7月16日~7月18日を除く)

1 コンセプトはコンテンポラリージャパニーズ。2 レストラン「ザ・グリル」で朝食。3 天井が高く、開放的な「デラックスルーム」。江戸~大正時代のきものの古裂を用いた色鮮やかなタペストリーは、落ちていた内装のなかでモダンなアクセントに。



D

ホテル ラ・スイート神戸 ハーバーランド



レトロな港町・神戸で迎えてくれる 贅沢で美しい空間

1868年の開港以来、日本における欧米文化の発祥の地となった神戸港。この異国情緒溢れる地に約1年前に開業したスマール・ラグジュアリーホテルです。70室、すべての客室がオーシャンビューで、70坪以上の広さという贅沢な造りとなっています。今回は「グレース スイートルーム」に朝食付きでご招待。港の夜景を眺めながら、大型ジャグジーバスで手足をのぼしリラックス。キングサイズのシモンズ社製ベッドに身を委ね、心も体もゆったり。理想の休日です。

所在地:兵庫県神戸市中央区波止場町7-2

<http://www.l-s.jp/> ☎078-371-1111 チェックイン:15時 チェックアウト:12時

ご招待期間:2010年3月1日~2010年6月30日
(休前日・土曜日・全館貸切日・4月28日~5月4日を除く)

1 「グレース スイート」は101㎡の贅沢な広さ。68㎡もあるゆったりとしたテラスからはポートタワーと神戸の夜景が一望できる。2 ジャクソン社製の大型ジャグジーバスで優雅なくつろぎを(写真はイメージ)。3 心地よい朝日に包まれ、海風をよぐテラスで朝食を。

